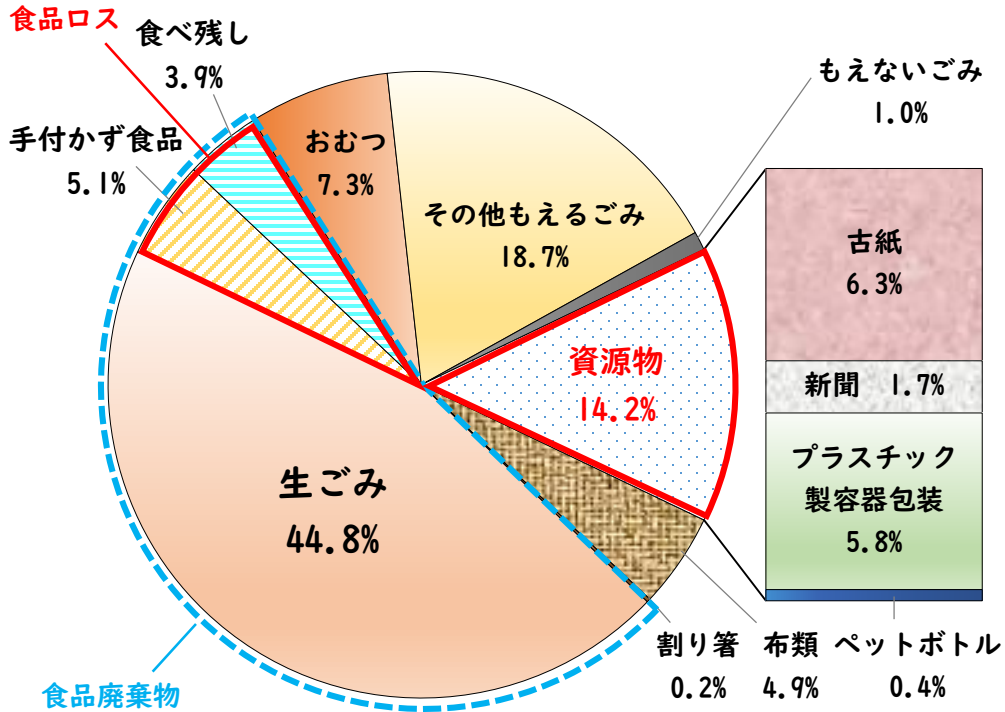


飯山市家庭ごみ組成調査（令和3年8月実施）

飯山市では家庭ごみの排出状況を把握するため、ごみステーションから無作為に回収したもえるごみ(50袋分)の組成調査を行いました。



調査結果

- 食品廃棄物は全体の53.8%を占め、食べ残しや手付かず食品などの食品ロスは9.0%を占めていました。
- もえるごみと別に収集している資源物は14.2%を占めており、特に古紙類とプラスチック製容器包装が多く混入していました。
- 空き缶やガラスびんなどのもえないごみは1.0%混入していました。

多く混入していた資源物の出し方

①古紙類

新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、その他の紙類ごとにひもでしばり古紙の収集日に出しましょう。特に、ひもでしばることができないその他の紙類については紙袋等に入れてまとめ中身がでないようにひもでしばって出しましょう。



②プラスチック製容器包装

分別の対象となるプラスチック製容器包装には「プラマーク」が表示されています。軽い水洗いや拭き取って汚れが落ちるプラスチック製の容器は分別しましょう。



生ごみの減量にご協力ください

コンポスト等を使った堆肥化の実践や、水切りの徹底のほか、食材の買いすぎや料理の作りすぎに注意し、食品ロスとならないようにしましょう。



実際にごみとして出されていた食料品